

SDGs とジェンダー平等 に関するアンケート2019

創価学会女性平和文化会議

調査概要

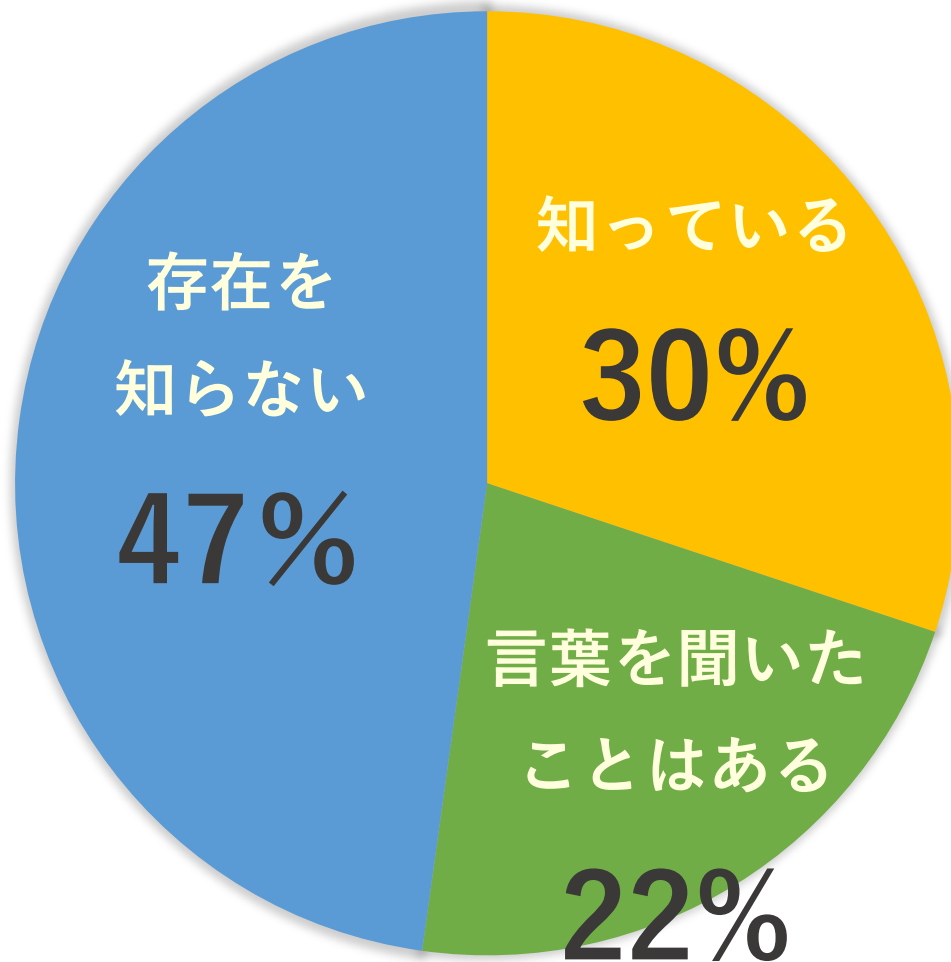
- 主催：創価学会女性平和文化会議
- 調査期間：
2019年9月1日～11月30日
- 調査対象：
全国の10代（中学生以上）から30代の女性
- 調査方法：
対面アンケート、
インターネット調査（WEB回答）

• 回収結果：1,363枚

• 回答者内訳（年齢別）：

10代	・・・	25.4%	(347名)
20代	・・・	36.3%	(496名)
30代	・・・	36.2%	(494名)
未回答	・・・	1.9%	(26名)

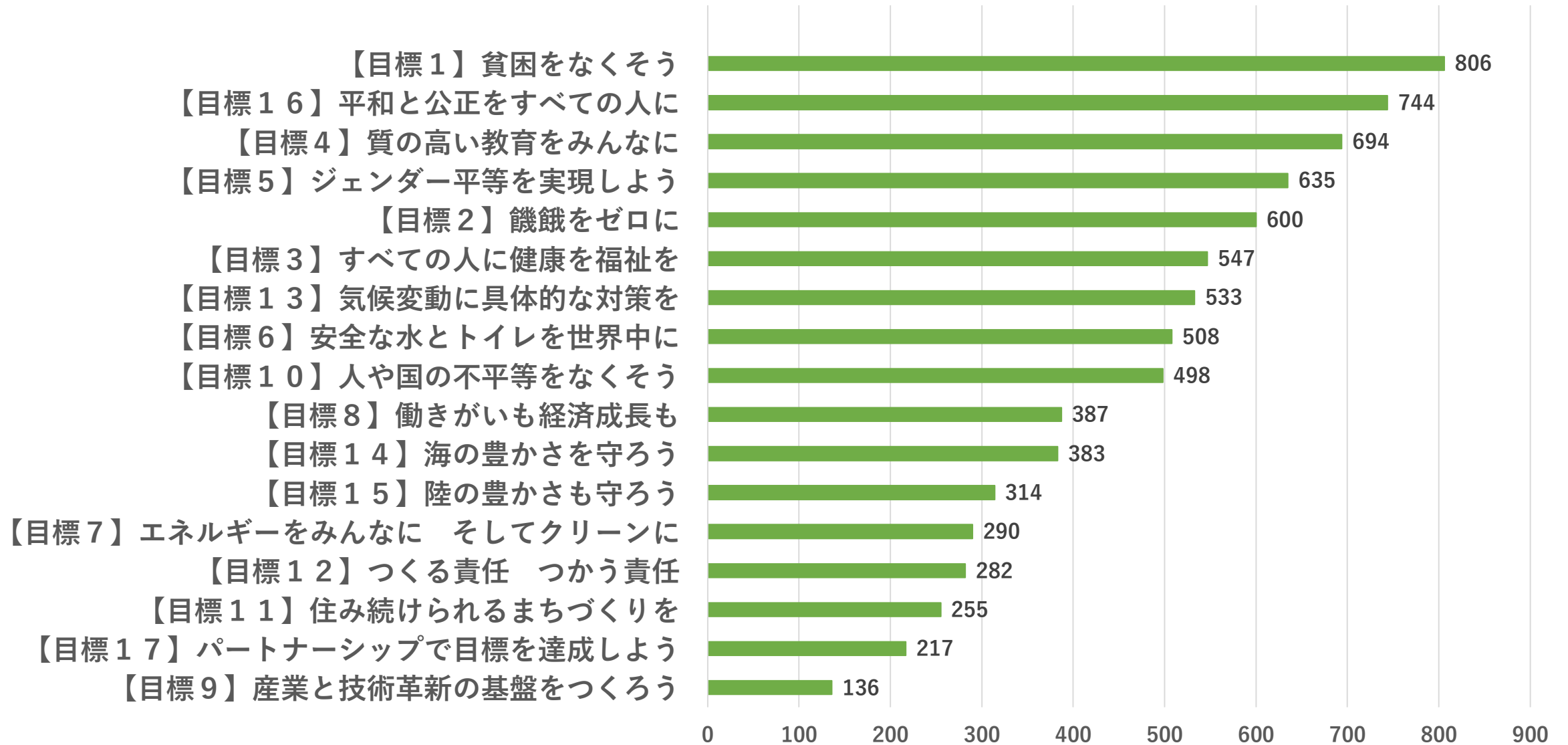
Q SDGsを知っていますか？



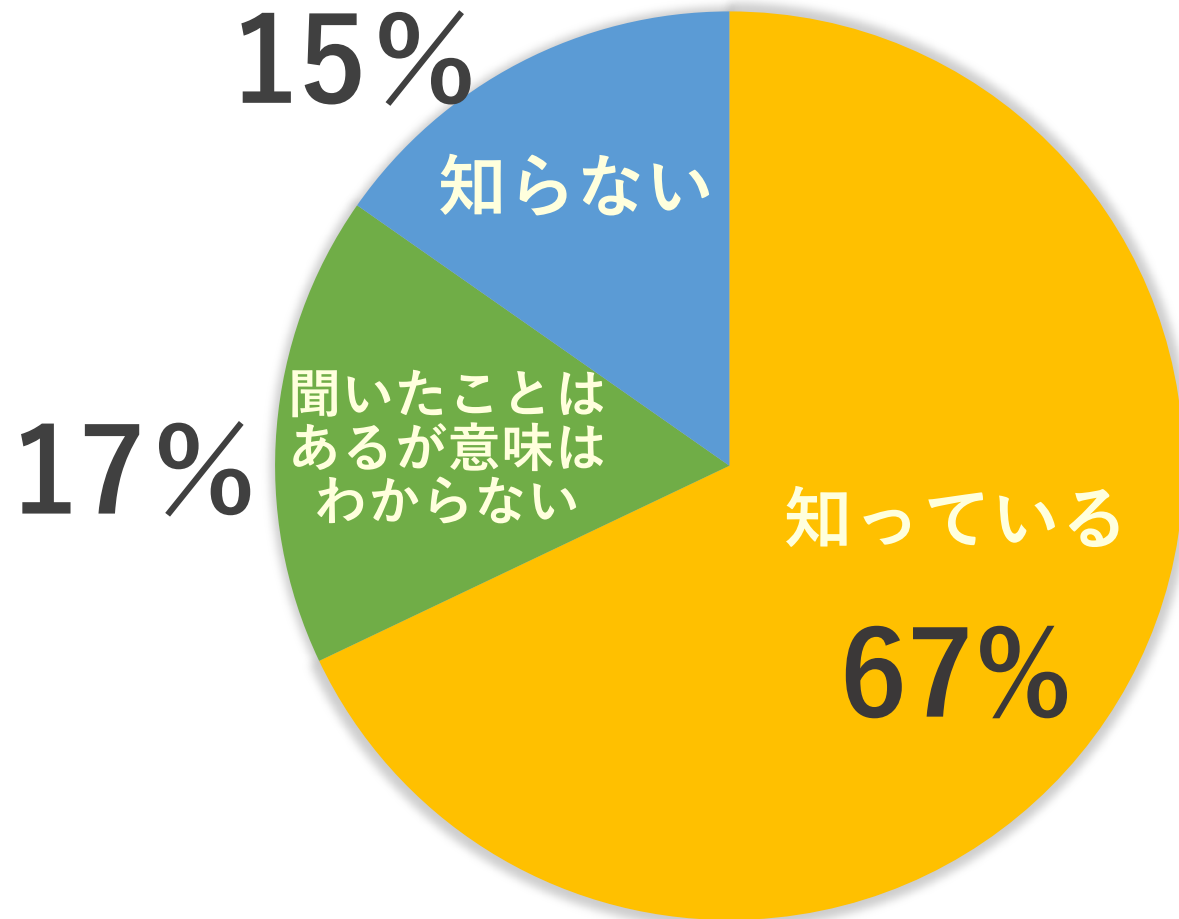
＜世代別の認知度＞
「知っている」「聞いたことがある」
と答えた割合

10代	60.7%
20代	48.5%
30代	49.7%

Q SDGsは17の目標と169のターゲットを掲げています。 あなたはどの目標に関心がありますか？（複数選択可）



Q SDGsに「ジェンダー平等」が掲げられています。
「ジェンダー」という言葉を知っていますか？

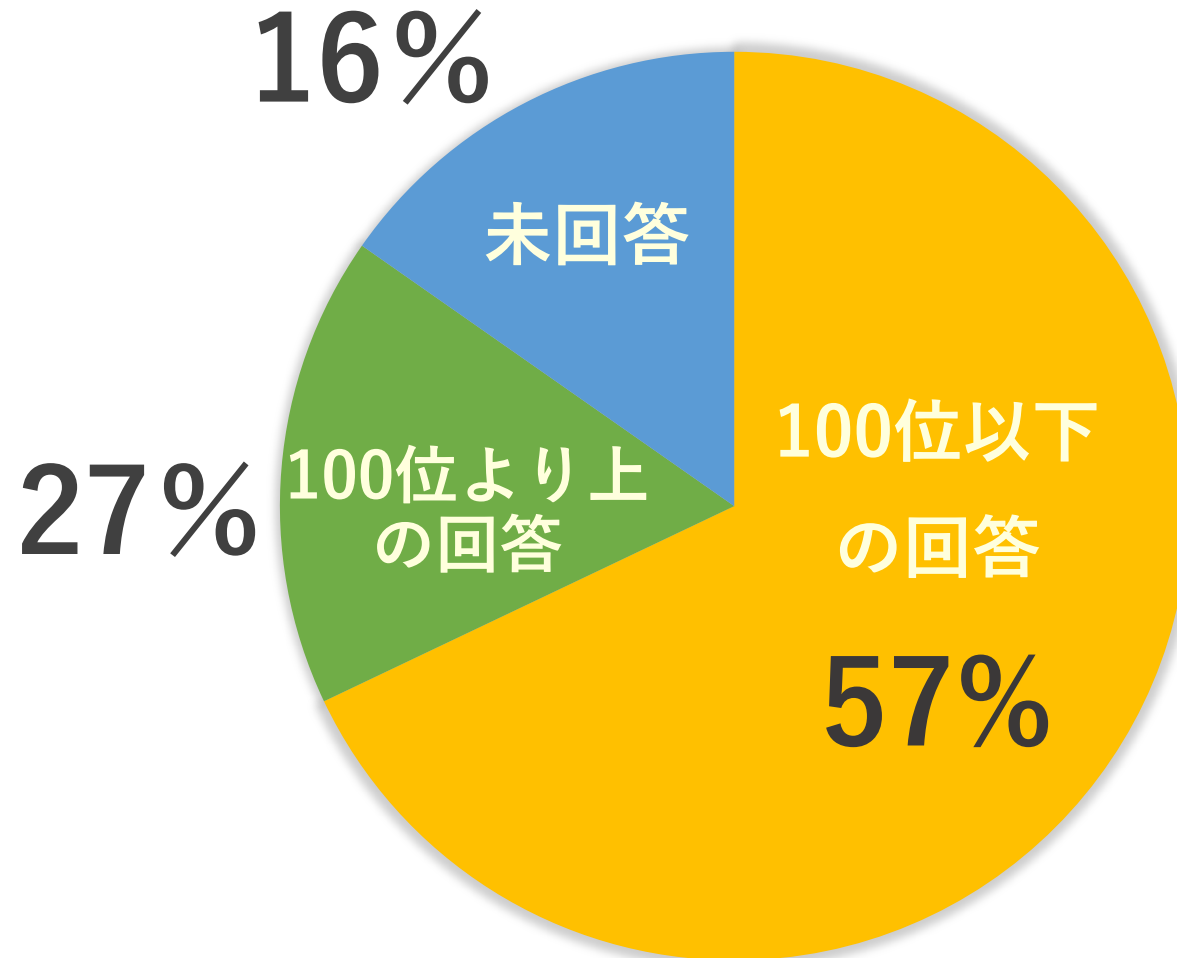


＜世代別の認知度＞
「知っている」と答えた割合

10代	61.3%
20代	69.3%
30代	69.1%

Q 各国における男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数で、日本の順位は149カ国の中で何位だったと思いますか。

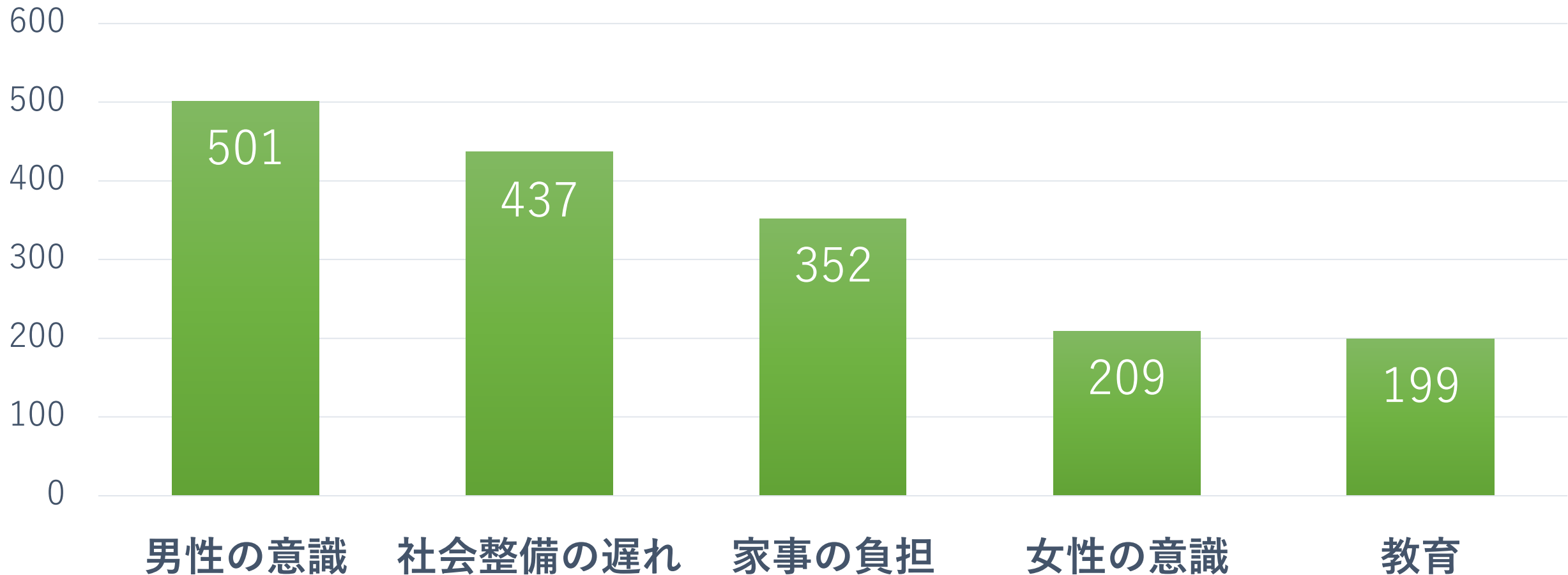
※順位が高いほど、ジェンダー平等が達成されています。



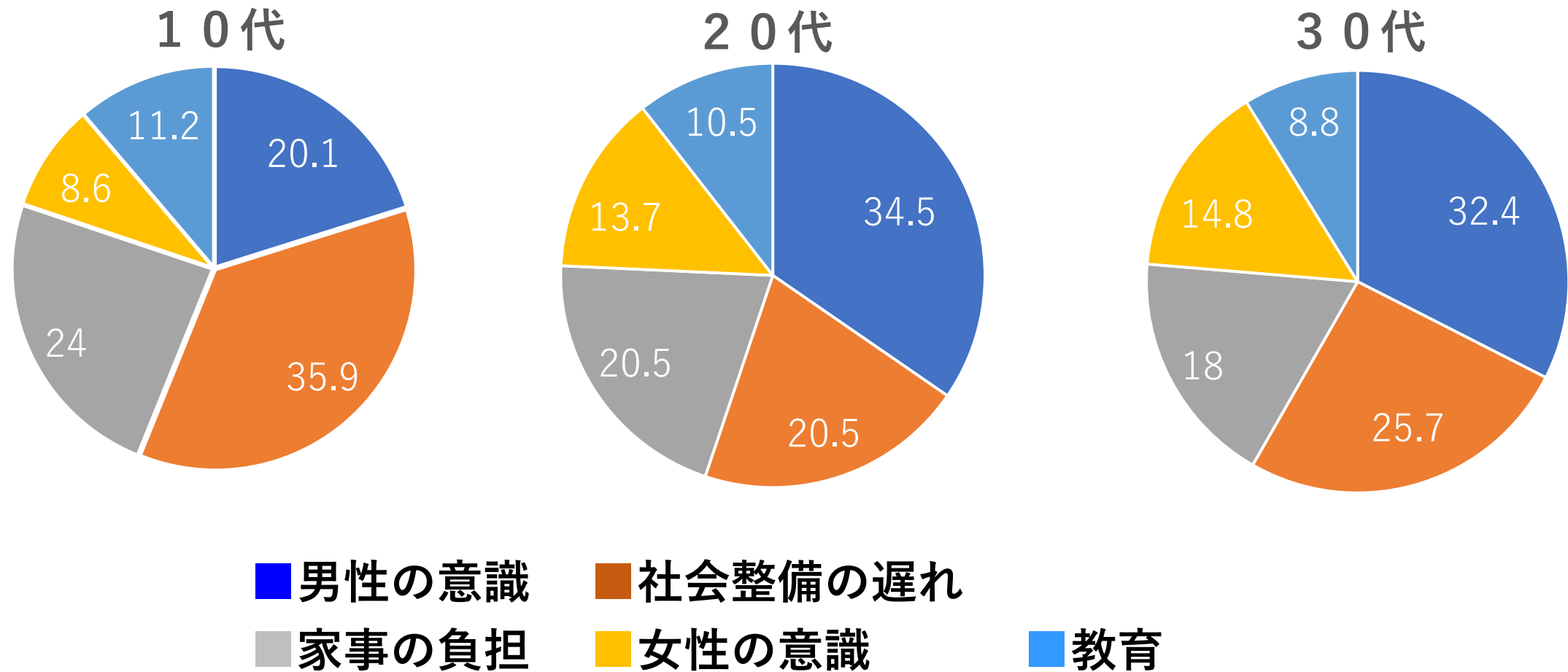
＜参考＞
アンケート実施時の
日本のジェンダーギャップ指数の順位：
149か国中110位(2018年)

(世界経済フォーラム
「The Global Gender
Gap Report 2018」)

Q 日本のジェンダー指数が低い原因は、政治・経済分野の女性のリーダーシップが少ないためだと言われています。日本の女性のリーダーシップを発揮することを最も難しくしているのは何だと思いますか？（複数選択可）

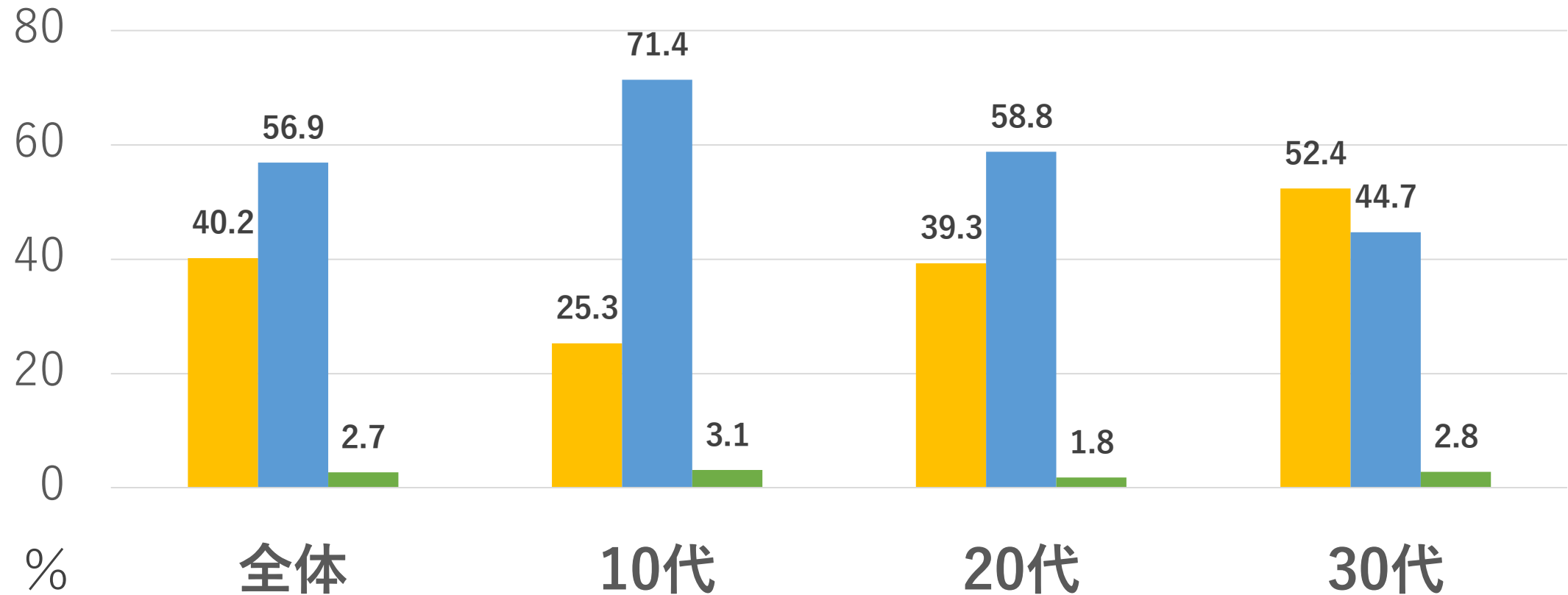


Q 日本のジェンダー指数が低い原因は、政治・経済分野の女性のリーダーシップが少ないためだと言われています。日本の女性のリーダーシップを発揮することを最も難しくしているのは何だと思いますか？（年代別）



Q あなたは自分自身の体験として、
女性であることでの不利益を感じたことがありますか？

■ ある ■ ない ■ 未回答



Q 女性であることでの不利益を感じた具体的な場面とその時のあなたの感想を教えてください

代表的な声

<職場>

産休・育休を取る人のポスト、本人の戻る場所、代わりの人の対応、キャリアをどうするか、特に女性が考えさせられるような立場にあると感じる

男性、女性の給与体系が
違うところ

男性だけが企業まわりに行って、女性は内勤というスタイルが多いと感じる

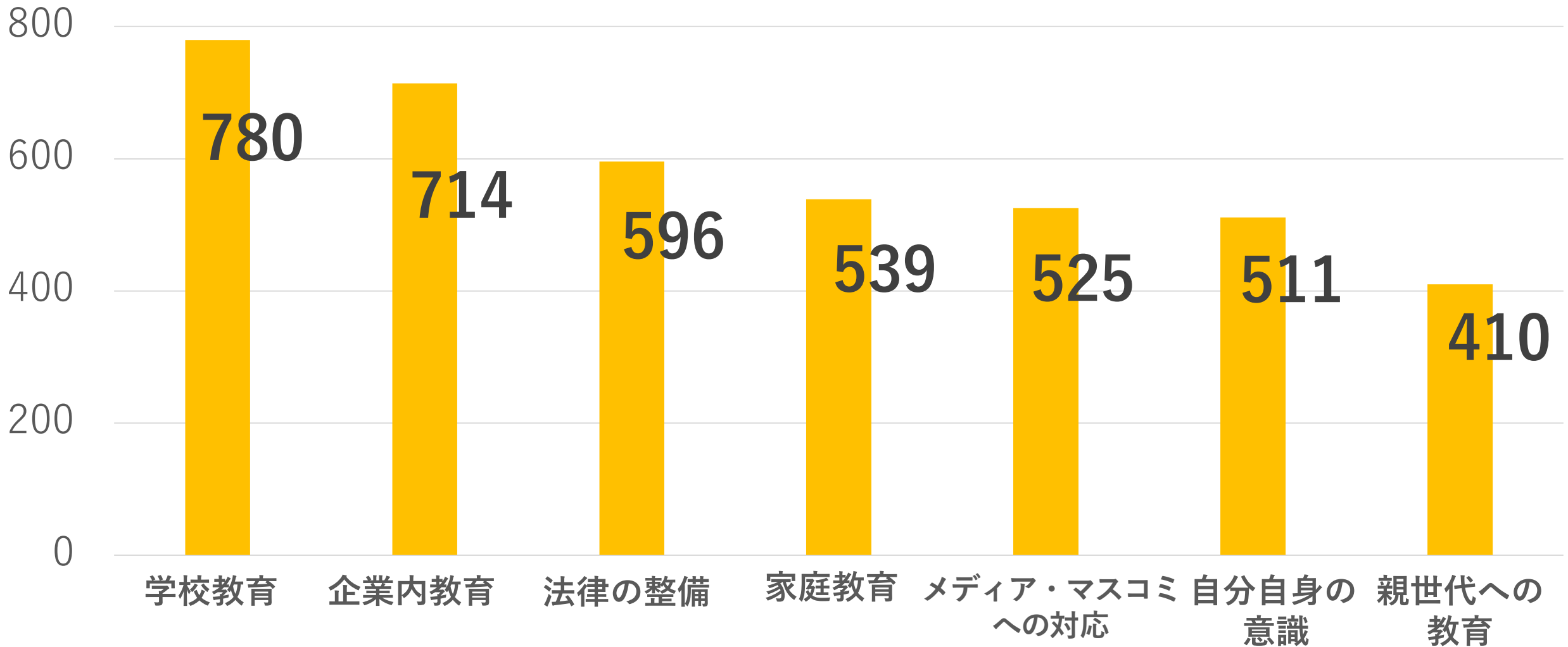
<その他>

男性優位の社会であり、女性が意見を言うと煙たがられる

「女の子だから」とやりたいこと
でも制限されることがあった

340名の人が「職場」と答え、一番多い回答となった

Q ジェンダー平等を達成するために
何が大事だと思いますか？（複数選択可）



Q ジェンダー平等の実現に向けて、あなた自身は
何ができると思いますか？自由にお書きください

代表的な声

まずは、自分が、女性側が意識を変える努力
をすること

自分の意思・意見を
外部に向けて発信すること

勉強できる場に参加し、
ジェンダー平等について
勉強し、考えたい

個々人が長所を生かし
ながら、生き生きと活躍
できるよう、自分の今いる
場所から変えていく

不平等を感じている人と、
どうしたら解決できるかを
考え話し合っていきたい

老若男女問わず
情報交換し、地域や社会で
取り組んでいく

全回答（241件）のうち、
自分自身の普段の意識や行動を変えたいという回答が**約96%**あった